

グラウンドゴルフ

登米の老人ク 被災者と交流

登米市の南方町老人クラブ連合会(菅原慶志会長)は5月24日、同市南方町の中央運動広場で、市内の仮設住宅で暮らす被災者を招いたグラウンドゴルフ交流大会を開いた。

南方町地区のイオン南



仮設住宅で暮らす被災者を招いた交流大会

方店跡地仮設住宅団地で暮らす被災者15人と、会者代表として古沢孝夫さん(85)が「南方の皆さん

の物心両面にわたる支援に感謝したい。皆さんと一緒に競技を楽しみたい」とあいさつした。

参加者は6、7人一組で16ホールを回り、打数を競った。連合会の菅原会長は「地元の住民とコミュニケーションを図り、体を動かすことで被災した人たちの気が少しでも晴れるとうれしい」と話した。